

BENEFIT JAPAN

2023年3月期 第2四半期決算説明資料 (2022年4月1日～2022年9月30日)

株式会社ベネフィットジャパン

(証券コード：3934)

目次

I .2023年3月期第2四半期決算ハイライト

II .2023年3月期第2四半期までの主な取組み

III .2023年3月期第3四半期からの主な取組み

IV .通期業績予想について

V .APPENDIX

I .2023年3月期 第2四半期決算ハイライト

2023年3月期第2四半期決算ハイライト

1

売上高は過去最高の6,257百万円
(前年同期比+8.5%)

2

契約回線数は過去最高の225,700回線超
(前年同月比+20.5%)

3

販売コストが増加し経常利益は前年同期と比べ減少
(前年同期比△56.5%)

連結損益計算書（2023年3月期第2四半期）

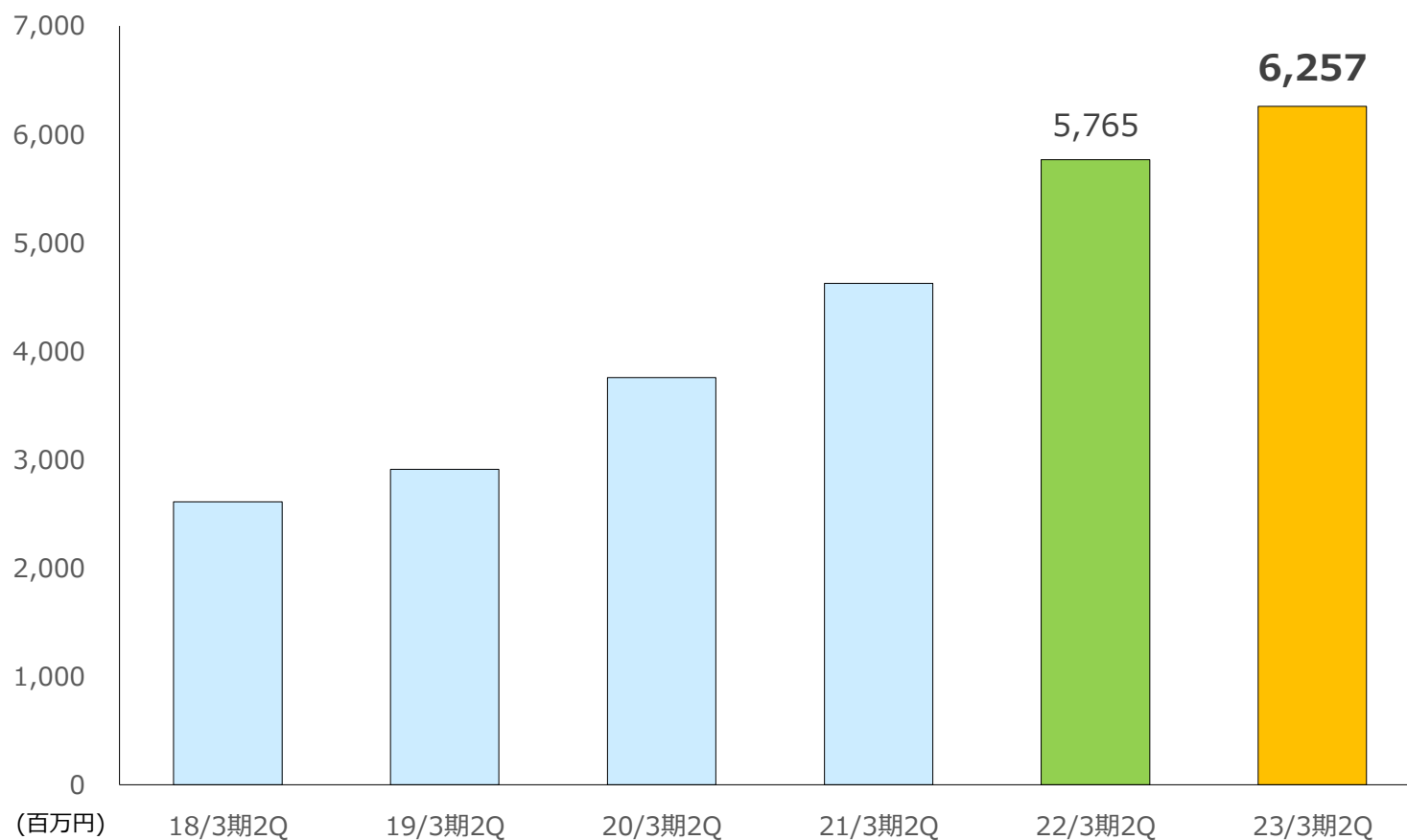
- 契約回線数増、ロボット事業の売上高増等により、連結売上高は前年同期比8.5%増
- ロボット事業において、販売人員及び販売促進費を増加させ事業拡大を図ったものの、想定した新規獲得件数に届かなかったこと等により連結経常利益は前年同期比56.5%減
- 代理店の信用状態悪化に伴い、貸倒引当金繰入額を特別損失（119百万円）として計上

(百万円)

	22年3月期 第2四半期		23年3月期 第2四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期 比増減率	前年同期 比増減額
売上高	5,765	100.0%	6,257	100.0%	+8.5%	+492
売上原価	2,552	44.3%	2,849	45.5%	+11.6	+296
売上総利益	3,212	55.7%	3,408	54.5%	+6.1	+196
販管費	2,433	42.2%	3,050	48.7%	+25.3	+616
営業利益	778	13.5%	358	5.7%	△54.0%	△420
経常利益	797	13.8%	346	5.5%	△56.5%	△450
親会社株主に帰属する 四半期純利益	525	9.1%	91	1.5%	△82.5%	△434

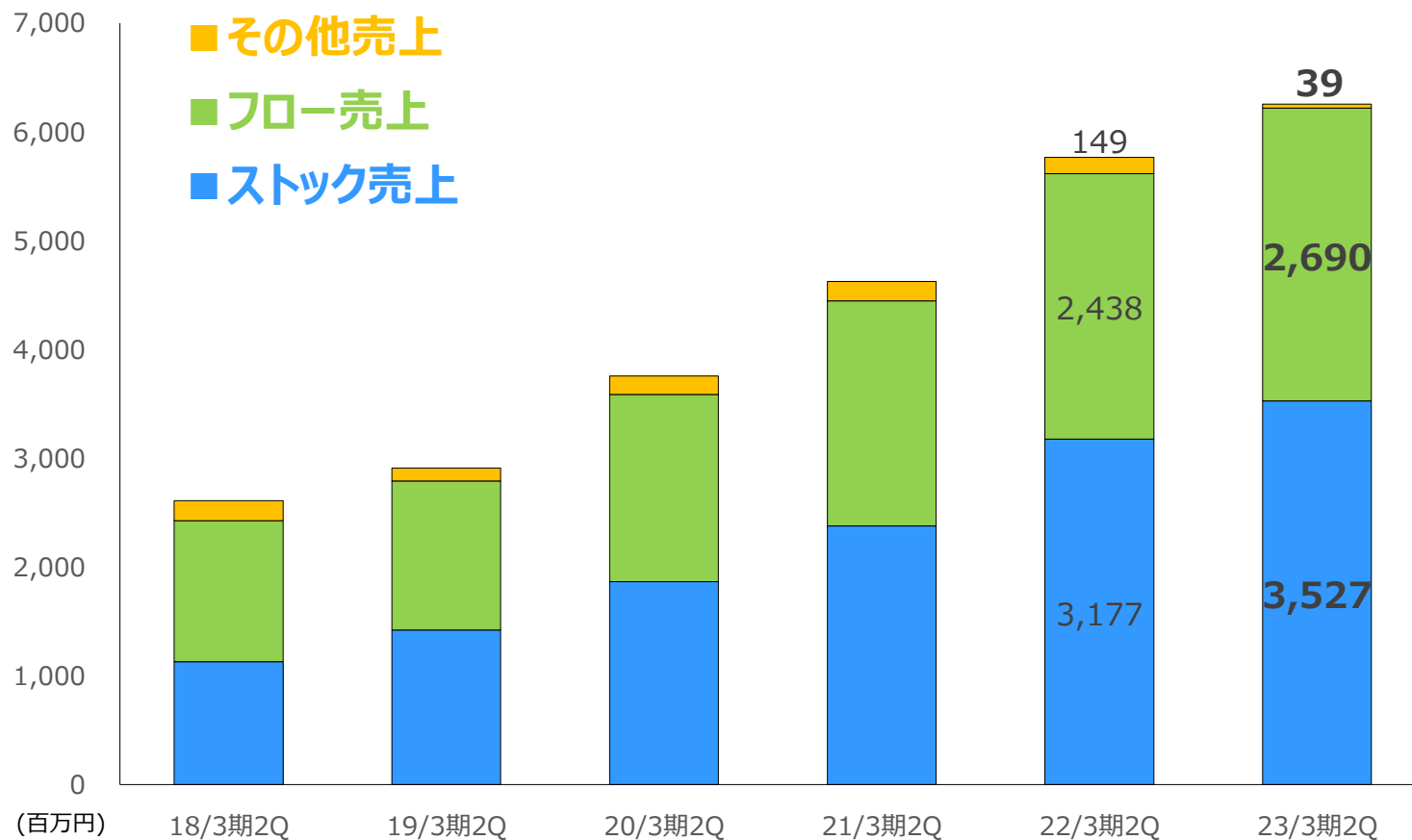
連結売上高推移（2023年3月期第2四半期）

- 契約回線数増、ロボット事業の売上高増等により、連結売上高は前年同期比8.5%増



前年同期比
8.5%増

フロー・ストック別売上高推移（2023年3月期第2四半期）



フロー売上高
前年同期比

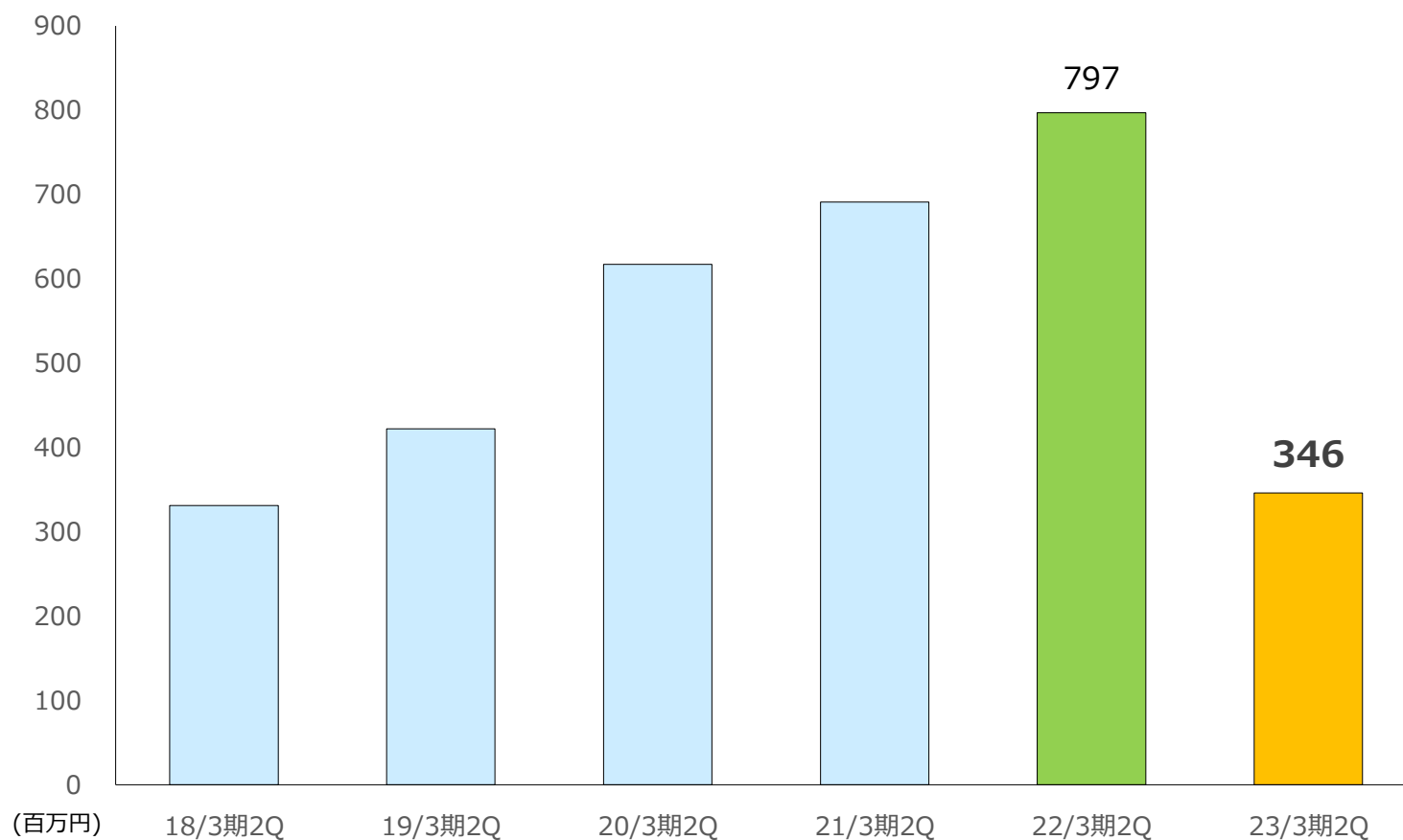
10.4%増

ストック売上高
前年同期比

11.0%増

連結経常利益推移（2023年3月期第2四半期）

●ロボット事業において販売人員及び販売促進費を増加させ事業拡大を図ったものの想定した新規獲得件数に届かなかったことや量販事業部立ち上げに伴う先行投資費用増、新型コロナウイルス感染症に伴う行動規制が緩和されたことで大手通信キャリアや他企業による各種イベントが多数行われ、優良店舗の確保が難しくなる等の販売コスト増により、連結経常利益は前年同期比56.5%減



前年同期比
56.5%減

セグメント別業績（2023年3月期第2四半期）

(百万円)

	22年3月期 第2四半期	23年3月期 第2四半期	前年同期比 増減率	前年同期比 増減額
売上高	5,765.0	6,257.7	+8.5%	+492.7
モバイルWi-Fi	4,535.7	4,790.8	+5.6%	+255.0
ロボット	960.2	1,325.0	+38.0%	+364.8
その他	269.0	141.8	△47.3%	△127.1
営業利益	778.2	358.0	△54.0%	△420.2
モバイルWi-Fi	1,056.6	1,052.8	△0.4%	△3.7
ロボット	△122.8	△506.5	△312.3%	△383.7
その他	52.7	41.1	△22.0%	△11.5
全社費用	△208.2	△229.4	△10.1%	△21.1

セグメント別売上高増減分析（2023年3月期第2四半期）

●モバイルWi-Fi事業

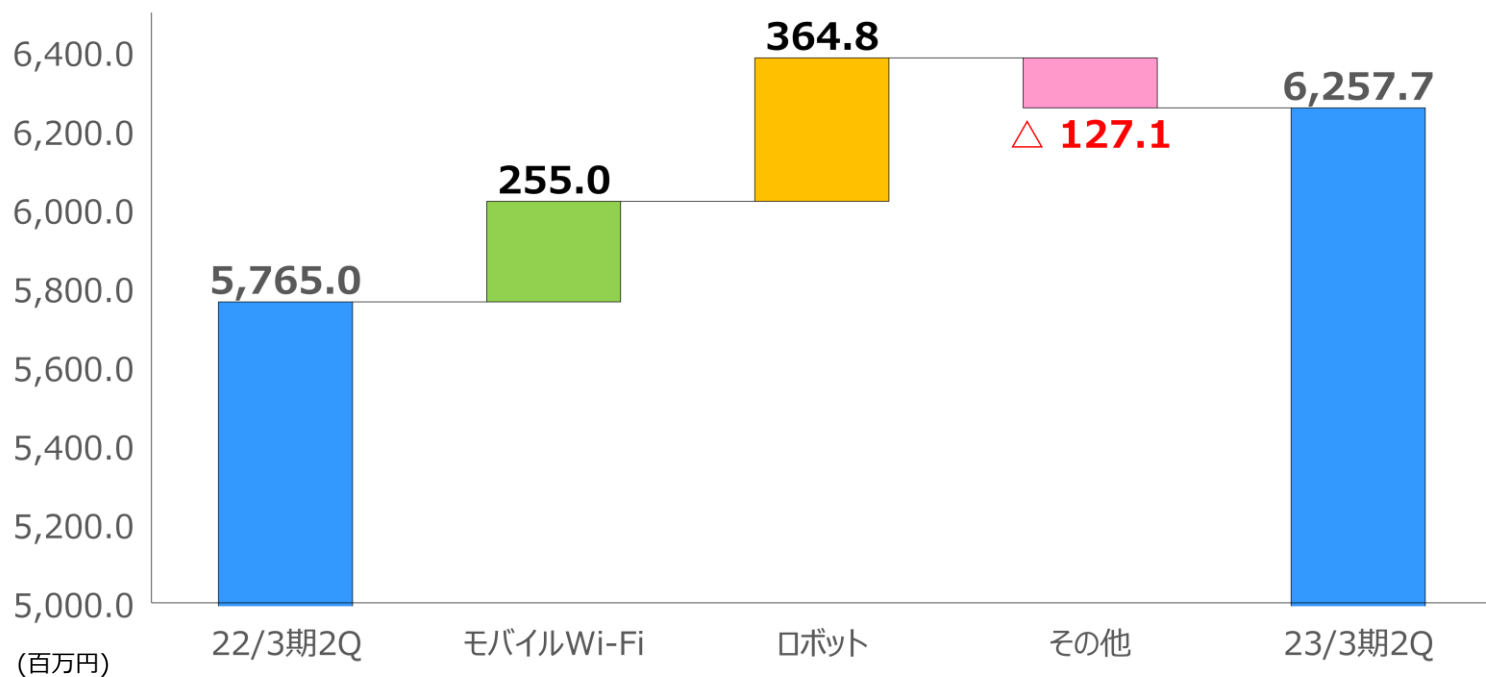
販売人員をロボット事業に振り向けたことや代理店に対するモバイルルーターの端末販売減等により売上高減も、MVNE回線数増等により保有件数増に伴うストック売上高が増加する等おおむね想定の売上高を確保

※保有件数増に伴うストック売上高増（+258百万円）、レンタル利用増に伴う売上高増（+75百万円）、端末販売等の売上高減（△79百万円）

●ロボット事業

販売人員を増やしポップアップストアを拡大したこと等によりロボット端末の売上高が増加したが想定は下回る

※保有件数増に伴うストック売上高増（+108百万円）、端末販売等の売上高増（+256百万円）



前年同期比
8.5%増

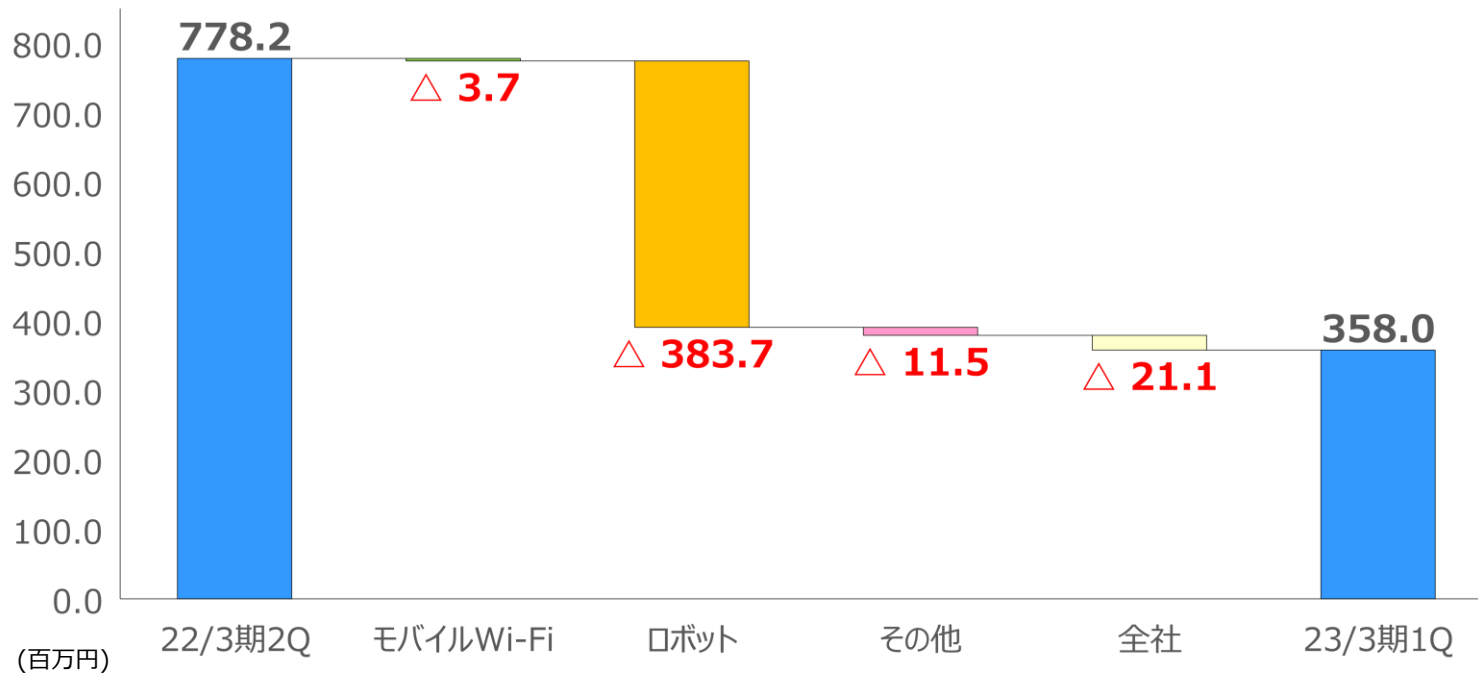
セグメント別営業利益増減分析（2023年3月期第2四半期）

●モバイルWi-Fi事業

契約回線数は増加したものの、優良店舗の確保が難しかったことから遠方店舗や大型店舗を中心に稼働したこと、定期的に発生するモバイルルーター端末の劣化に伴い、端末を購入したこと等で前年同期と同水準にとどまる

●ロボット事業

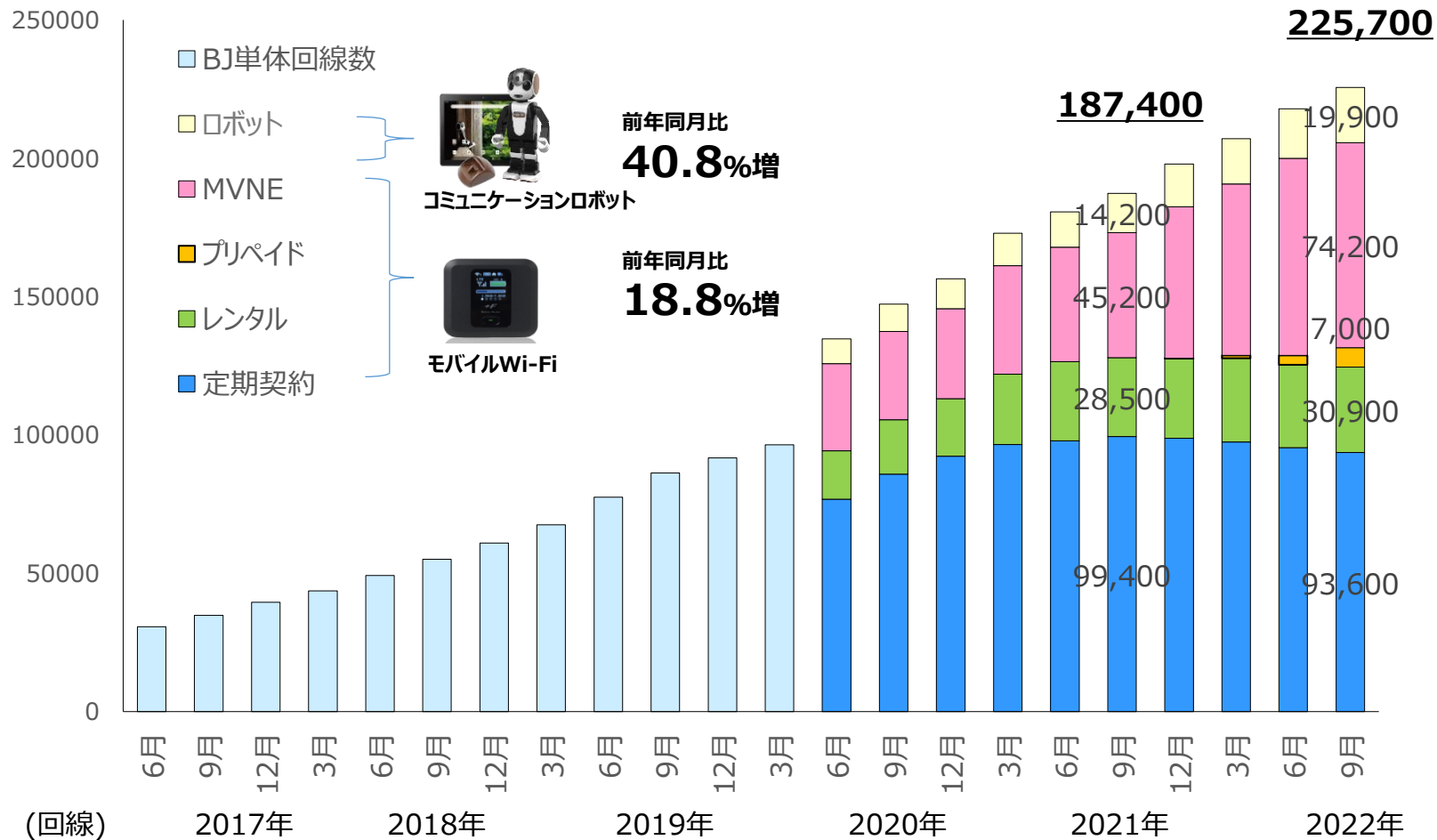
販売人員、広告費用等の販売促進費、遠方店舗及び大型店舗での稼働増加等により販売コストが増加し減益要因に



前年同期比
54.0%減

契約回線数の推移

● 契約回線数はMVNEが大幅に伸長したこと等により前年同月比20.5%増



前年同期比
20.5%増

※ 2020年3月までは、ベネフィットジャパン単体の契約回線数
2020年6月以降は、ベネフィットジャパングループの契約回線数（区分）

Ⅱ.2023年3月期 第2四半期までの主な取組み

「LOVOT（らぼっと）」の取扱いを開始

- GROOVE X 株式会社が開発する家族型ロボット「LOVOT（らぼっと）」の取り扱いを開始
- 全国で展開する「Robot Planet」で「LOVOT（らぼっと）」を体験、購入できる体制を構築



LOVOT（らぼっと）



Robot Planet（ロボットプラネット）

量販事業部を新設し、エディオンでロボットの取扱いを開始

- 量販事業部を新設するとともに、エディオングループ直営店26店舗でコミュニケーションロボットの取扱いを開始



エディオン岡崎本店



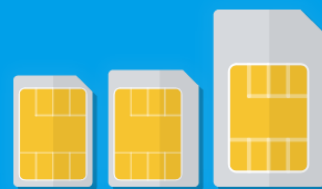
エディオン京都四條河原町店

ECサイト「プリペイドSIMどっどこむ」をスタート

- ECサイト「プリペイドSIMどっどこむ」をスタート
- プリペイドSIMをECサイトにて販売
- SIMロックが原則として禁止される総務省のガイドラインに合わせ、利用者の生活スタイルに合った豊富なプランを用意



ぴったり
うれしい見つかる



SIMカードのことなら、
プリペイドSIMどっどこむ

お客様との関係構築に向けた取組みの強化

- HPやSNS等でロボットプラネット及びロボットに関するの情報配信強化し、お客様との関係構築を強化
- Instagramフォロワー数4,651人、LINEフォロワー数3,254人（22年11月1日現在）
- ロボホンユーザーにロボホン用の服を販売するECサイト「Robot Closet」の売上拡大
- カスタマーセンターの運用体制を強化



Ⅲ.2023年3月期 第3四半期からの主な取組み

エディオンでクラウドWi-Fi、クラウドタブレットの取扱いを開始

- 全国のエディオン直営店416店舗（FC6店舗）でクラウドWi-Fi、クラウドタブレットの取扱いを開始



クラウドWi-Fiルーター「AIR-1」

クラウドタブレット「ATab-1」

カラー	ホワイト
サイズ	126×68×12.1 mm
ディスプレイ	2.4インチ
重さ	130g
上り速度/下り速度	最大50Mbps/ 最大150Mbps
バッテリー容量	3,000mAh
連続稼働時間	約17時間
Wi-Fi同時接続可能台数	最大10台

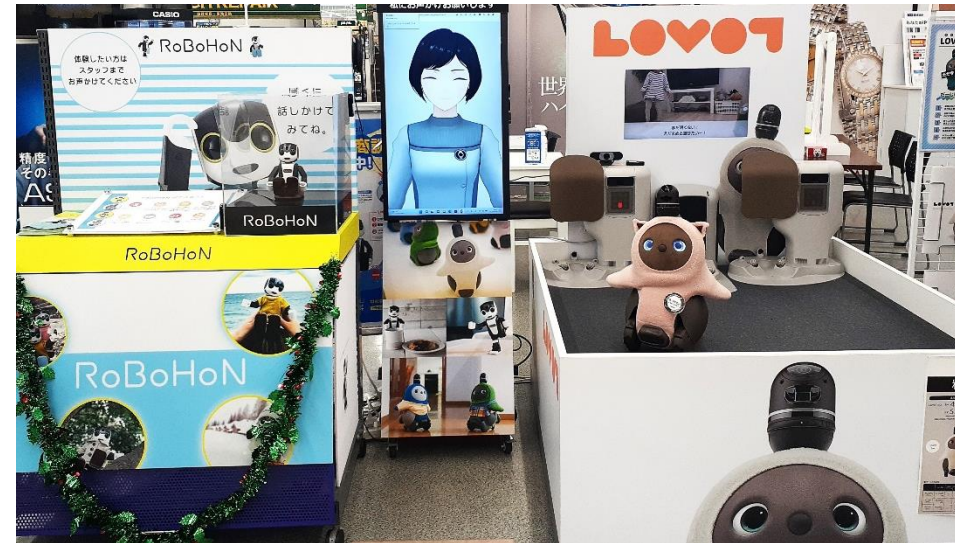
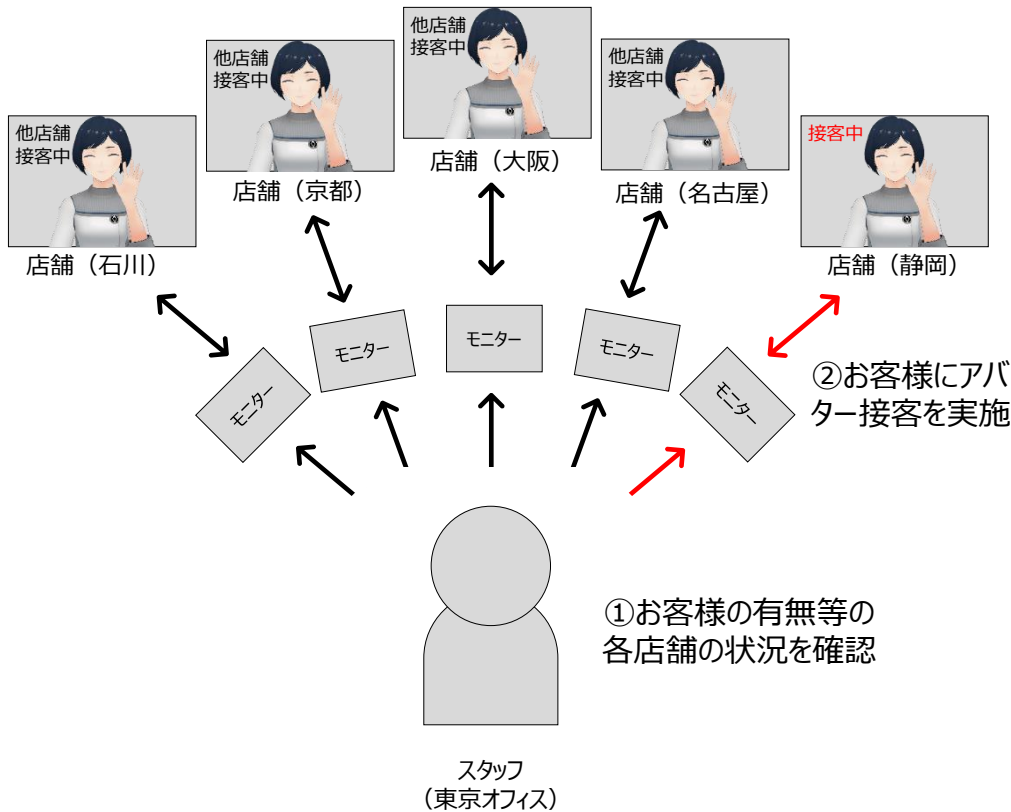
カラー	ゴールド
サイズ	245.44×168.13×9.9mm
ディスプレイ	10.1インチ/画面解像度:1,920×1,200
重さ	570g
上り速度/下り速度	最大50Mbps/最大150Mbps
OS	Android™ 11
CPU	Qualcomm® Snapdragon™ 662 SDM662
電源（バッテリー）	リチウムイオンポリマーバッテリー/容量:5,000mAh
デザリング可能台数	最大5台



エディオン大垣ベルプラザ店

アバター接客サービスを導入

- エディオングループにおいてアバター接客サービスを導入
- 1人のスタッフが複数の店舗を担当し、アバターを通じた接客を行うことで業務の効率化を図る
- コミュニケーションロボットを扱う店舗でのお客様からのお問い合わせに対して、AI等による応答ではなく豊富な知識を有する社員がきめ細やかに応答する



エディオングループの100満ポルト金沢本店

販売促進費の適正化

- 2023年3月期第2四半期で、折込チラシや販促キャンペーンを行うも期待する効果は得られず、2023年3月期第3四半期以降中止し、費用対効果の高かったウェブ広告や地方エリアでのテレビCM等を中心に販売促進活動を開始
- 2023年3月期第3四半期以降の販売促進は、効果を慎重に見極めながらチャレンジしていく



テレビCMのビジュアルイメージ



Robot Planet（ロボットプラネット）ホームページ

IV.通期業績予想について

23年3月期の通期連結業績予想の修正

- ロボット事業において販売人員及び販売促進費を増加させ事業拡大を図ったものの想定した新規獲得件数に届かないこと、新型コロナウイルス感染症に伴う行動規制が緩和されたことで大手通信キャリアや他企業による各種イベントが多数行われ、優良店舗の確保が難しくなる等の要因で、2023年3月期通期連結業績予想を修正
- 現在、人材の適正配置及び販売促進費の適正化、優良店舗の早期確保等の改善策を積極的に実施

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 14,515	百万円 1,709	百万円 1,707	百万円 1,127	円 銭 189.58
今回修正予想 (B)	12,483	946	925	466	78.30
増減額 (B-A)	△2,032	△763	△782	△661	-
増減率 (%)	△13.9	△44.6	△45.8	△58.6	-
(参考) 前期実績	11,567	1,507	1,532	1,049	176.77

V .APPENDIX



会社概要



BENEFIT JAPAN Co.,Ltd.
株式会社ベネフィットジャパン

設立	1996（平成8）年6月6日
代表取締役	佐久間 寛（さくま ひろし）
本社	大阪市中央区
上場市場	東証プライム
証券コード	3934
業種	情報通信業
事業内容	モバイルWi-Fi事業、ロボット事業、その他事業
連結売上高	11,567百万円（2022年3月期）
連結経常利益	1,532百万円（2022年3月期）
資本金	648百万円（2022年3月期）
グループ全体 従業員数	334名（2022年4月時点）
子会社	(株)モバイル・プランニング (株)ライフスタイルウォーター

経営理念

ステートメント

アイデアと情熱で世界を変える

理念

アイデアと情熱で新しい価値を創造し、人類・社会の発展に貢献します。
人材の資質の向上を通じ、働く喜びと誇りを共感できる風土の醸成を目指します。

ビジョン

すべての人々にテクノロジーの恩恵を。

経営方針

情報通信サービスを中心にお客様のライフスタイルをもっと楽しく便利に！

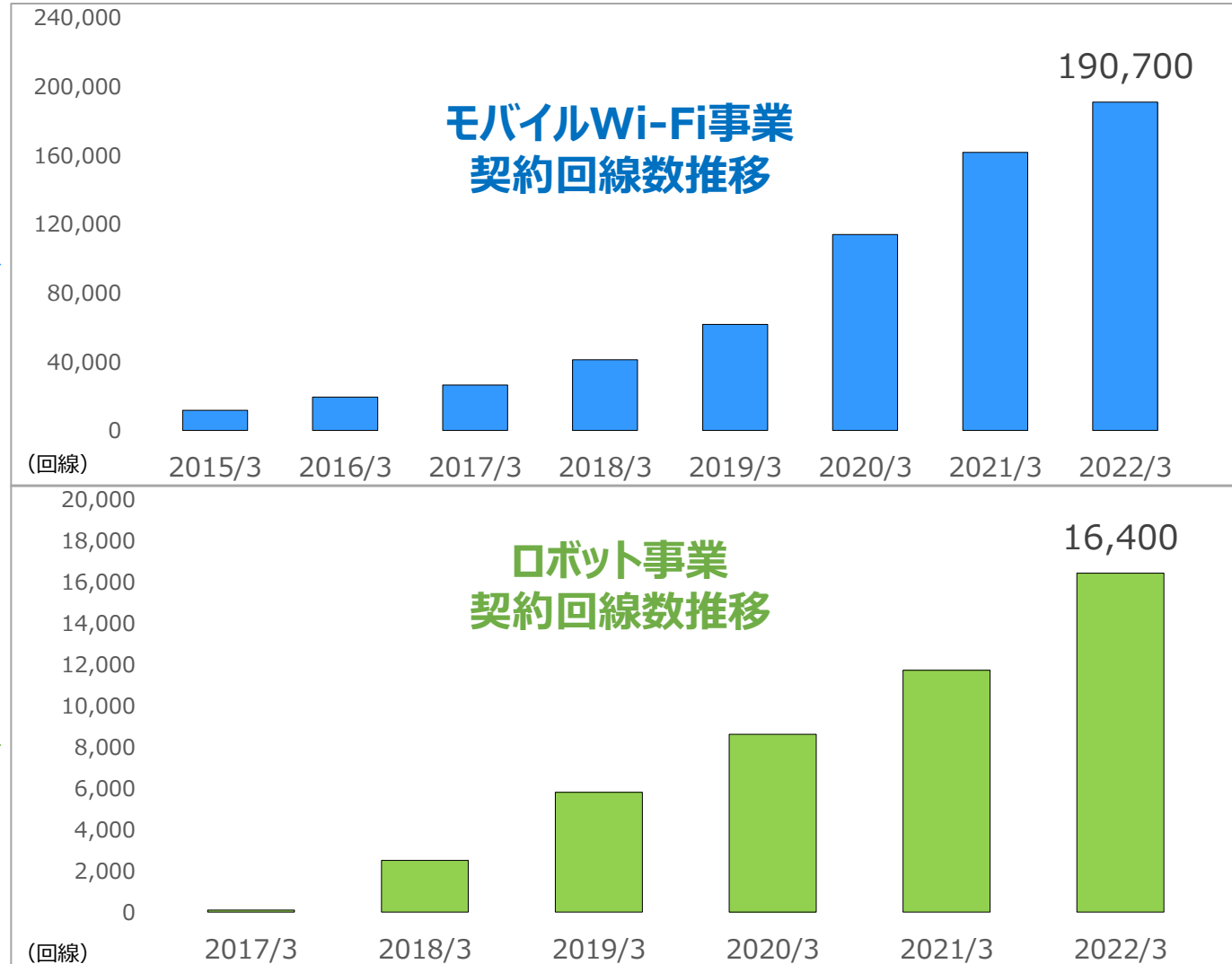
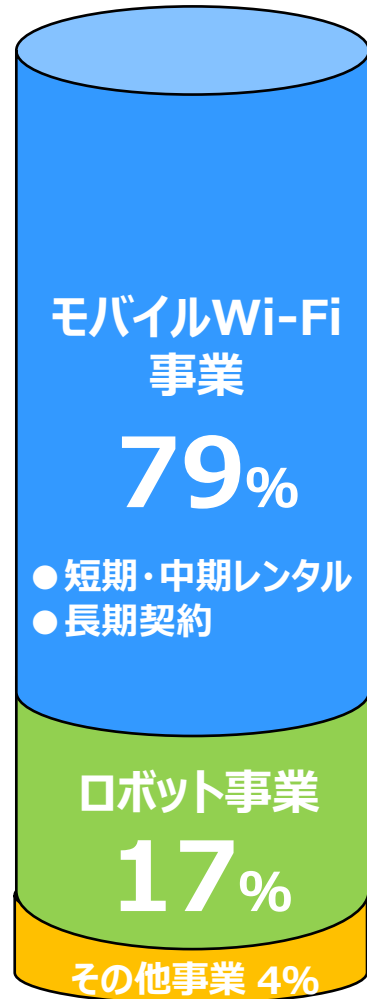
目指す姿

最高の顧客体験価値を創出するロボットプラットフォーム

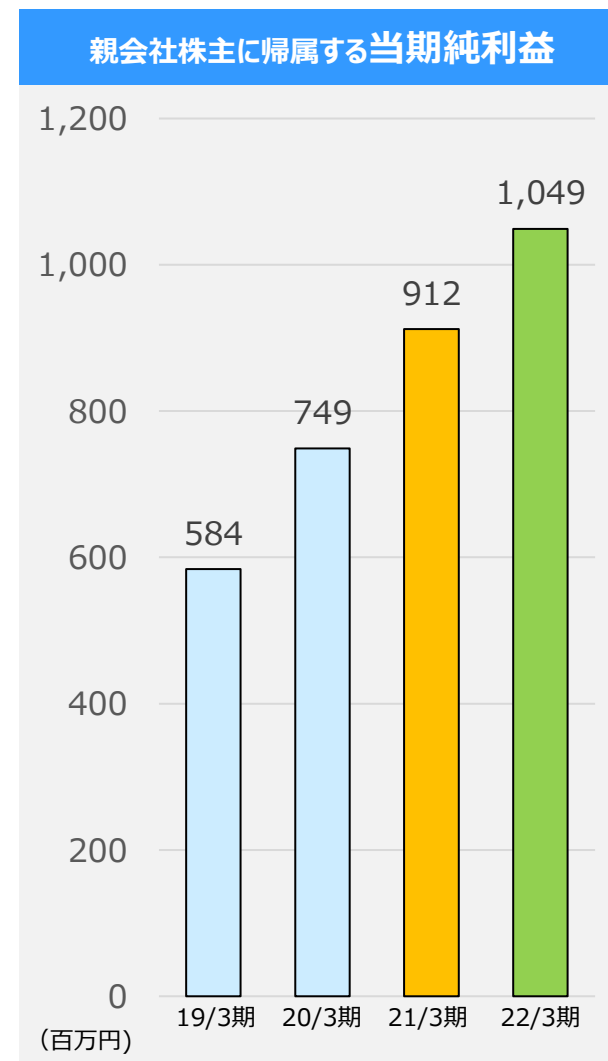
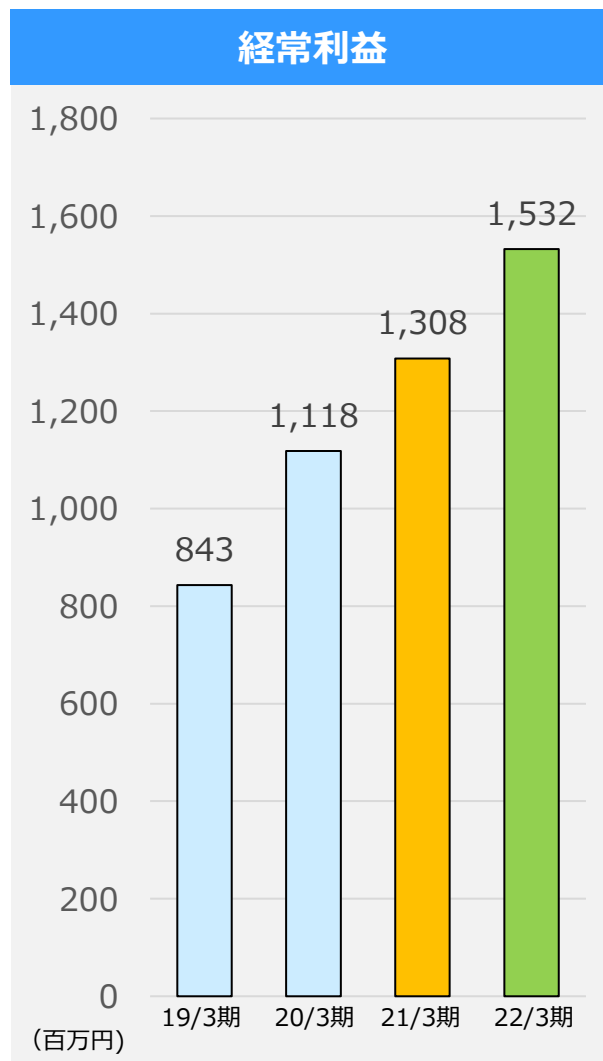
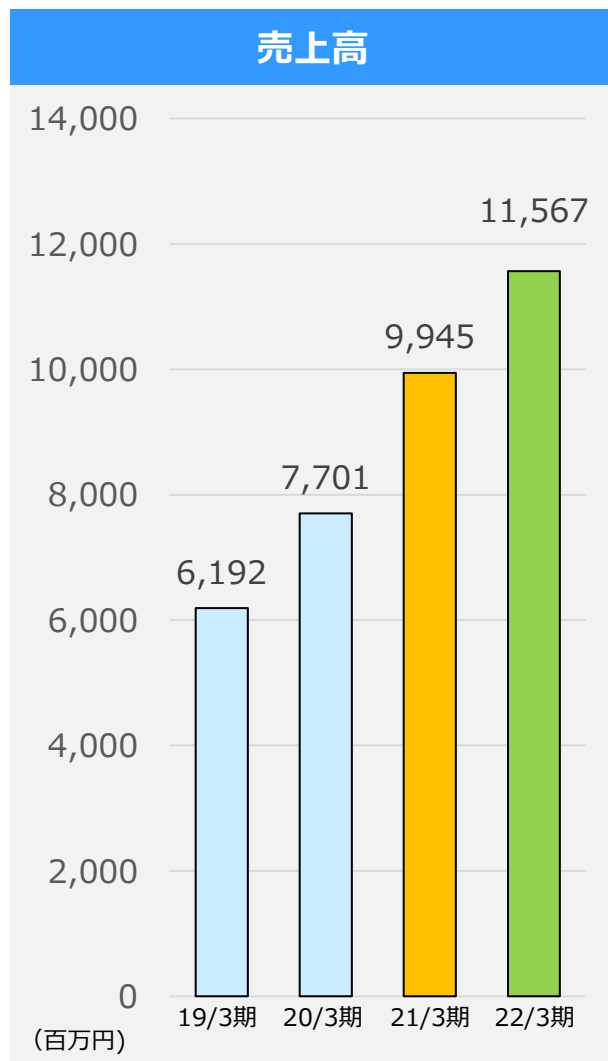
事業概要 事業セグメント別の売上高比率と契約回線数推移

売上高：11,567百万円（2022年3月期）

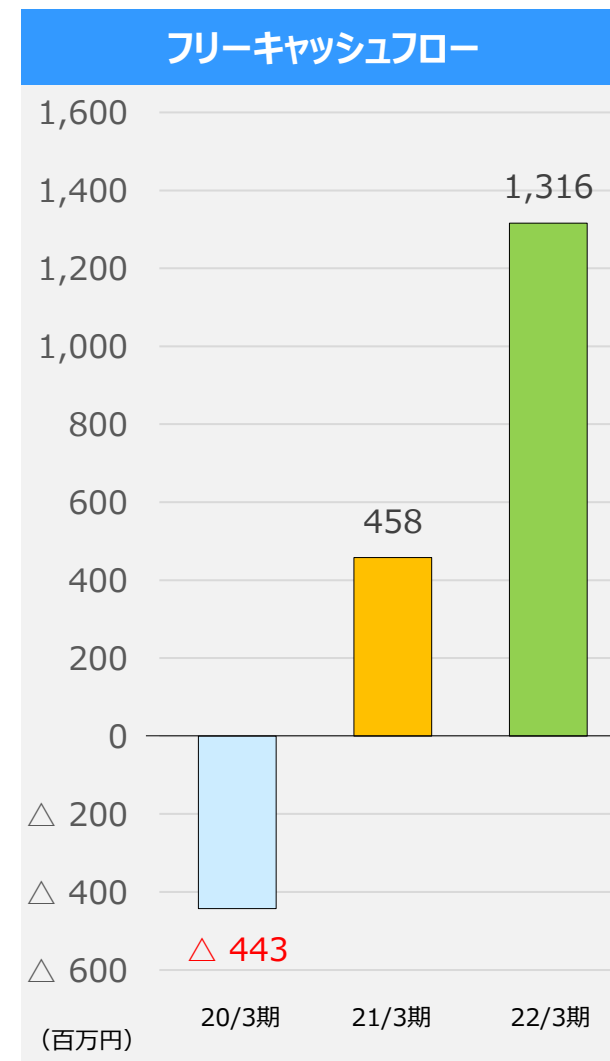
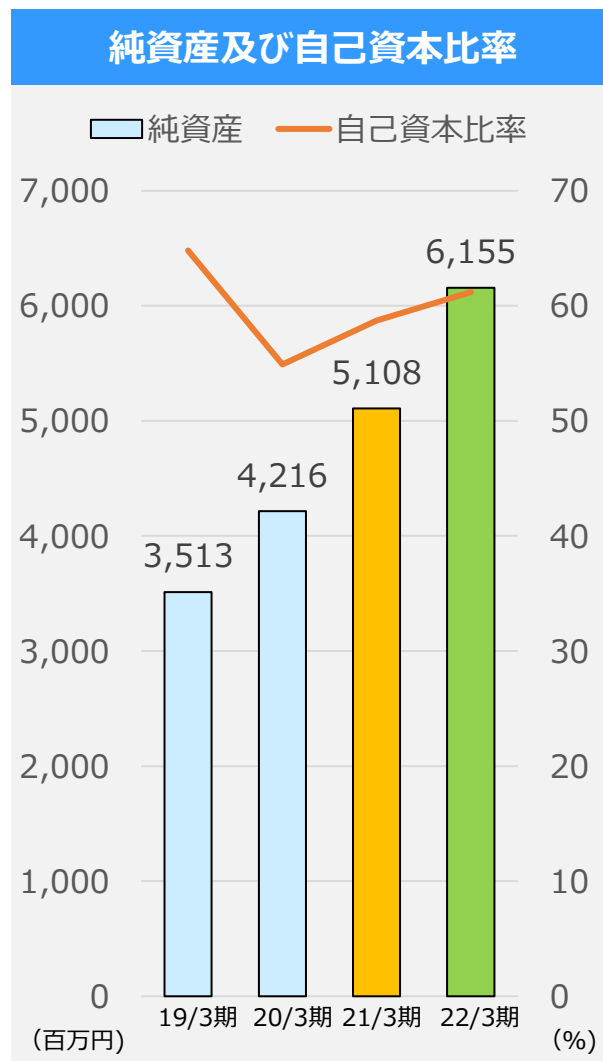
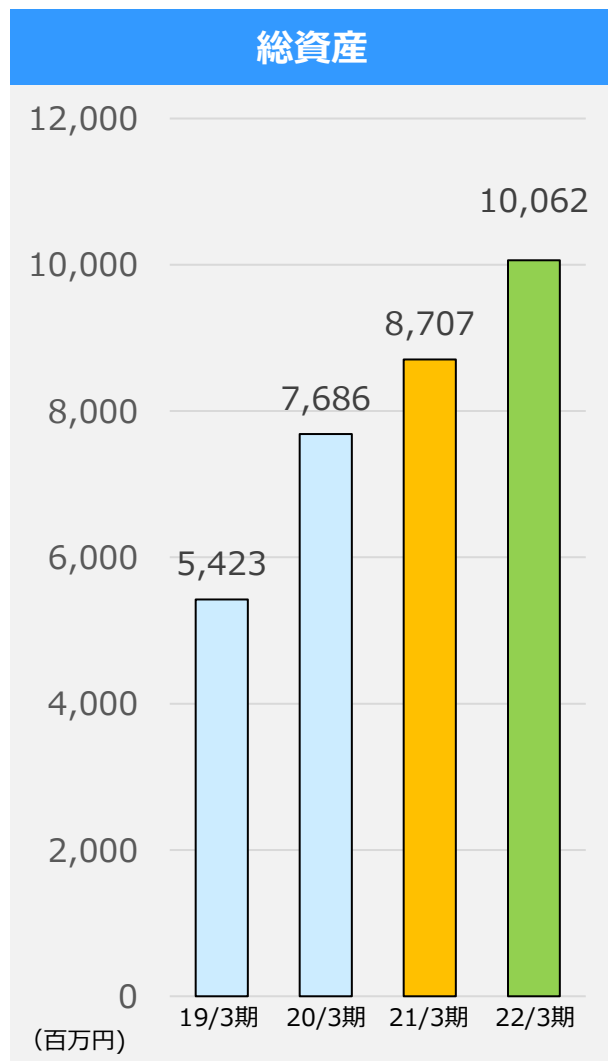
事業セグメント売上高比率



P/L (連結)



B/S及びFCF (連結)



免責事項及び将来見通しに関する注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ベネフィットジャパン（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、当資料作成時において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資をおこなう際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

“Connecting to the Future” (未来へ繋ぐ)

すべての人々にテクノロジーの恩恵を

Benefit of Technology to All People!

笑顔でつなぐ、

みんなの未来

BENEFIT JAPAN